

## 第247回:これでいいのだ～毛沢東傾倒

時の経つのは早いもので、実質胡錦濤時代の閉幕となる全人代が2012年3月に北京で開催されたが、その重要行事を挟む前後一か月、中国政界に激震が走り、きたる習近平時代の主要構成員と目されていた薄熙来中央政治局委員(重慶市党委書記)が失脚した。最終的に薄熙来は共産党から党籍を剥奪され、裁判所からは汚職の罪で無期懲役刑を受け、いまどこの牢屋(たぶん北京の秦城刑務所)に収監中だ。

薄熙来が胡錦濤主席や温家宝首相から睨まれた最大の理由は、彼が重慶で実行した「唱紅打黒」運動にあった。即ち重慶の政界と結託した組織暴力団(黒)を撲滅して、毛沢東時代の共産党(紅)の理想に回帰しようとする薄熙来の大衆動員型政治運動に胡錦濤たちは権力奪取の危険な臭いを嗅ぎ取った。胡錦濤はその薄熙来の失脚を最後の仕事にして政界から引退し、その跡目を習近平が継いだ。いま習近平主席が目指す政治目標は「中華民族的偉大復興」であり、その具体的施策とは、「政治を浄化して、毛沢東時代の原点に回帰しよう」と云うものだ。これって薄熙来の提唱した「唱紅打黒」運動そのものではないか。習近平は薄熙来のキャンペーンには大賛成だが、「その旗振り役はアンタじゃなくて、俺だよ」と考えて、薄熙来の失脚に同意したのである。

薄熙来と習近平は子供のころから面識があり、少年時代は年長の薄熙来の方が兄貴分だったようだが、この二人、よく似ているようで顕著な相違点もある。新中国の建国が1949年10月だから薄熙来は解放前(同年7月)生まれ、建国後の53年生まれの習近平よりも薄熙来が四歳年上である。二人とも大政治家の御曹司の太子党だが、父親のステイタス(特に鄧小平時代以降)は薄熙来の実父薄一波の方が格段に上だ。薄熙来は国際都市大連の市長から商務部長に転出した国際派、一方の習近平は河北省や福建省、浙江省を渡り歩いた「まるドメ」の国内派官僚である。薄熙来は長身白暫のイケメン、京劇で言えば馬超や姜維のような花形だ。一方の習近平は・・・と云った感じで、薄熙来が「どうして俺があいつに仕えなければいけないのだ」と考えたのは当然だろう。そんなわけで薄熙来は肅清され、彼の政治運動だけが習近平に継承されている。習近平は共産党の重要会議において、マルクスレーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論の後に、とってつけたように、「(江沢民)“三つの代表”重要思想」、「(胡錦濤)科学的発展観」を指導方針に付け加えているが、最近の習近平の行動は、鄧小平をすっ飛ばし、明らかに毛沢東を意識している。

10月末、福建省の「古田鎮」と云う山岳地帯の寒村で人民解放軍の政治工作会議が開かれ、習近平が重要講話を行った。報道によると今回の会議は習近平自ら開催地を指定、会議の主要任務は整風精神を貫徹し、新たな歴史条件下での軍隊建設の問題を検討解決することだそう。中国共産党設立が1921年、一時は国民党と仲良く合作した時期もあったが、1927年の蒋介石による上海クーデタにより国共蜜月時代は終了し、国民党は共産党の掃討作戦を開始した。それから二年、共産党率いる「中国工農紅軍」の主力部隊である「紅四軍」は這う這うの体で福建省古田鎮という誰も知らぬ山岳地帯に逃げ込み、そこで開催された軍事会議で朱徳、陳毅、毛沢東といった共匪の親分、もとい、共産党の指導者たちが「共産党による軍の指導方針」を樹立したらしい。これが党史に残る「古田会議」だと共産党の資料には書いてある。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

台湾の対岸に位置する福建省は、習近平が廈門(アモイ)市の副市長から、寧徳地書記、福州市書記を経て福建省省長(省の序列2位)まで上り詰めた登龍門の地である。くだんの古田は寧徳市に所属しており、習近平がかつて最高責任者を勤めた懐かしの地でもある。習近平は10月の「新古田会議」で「党の絶対的指導」に何度も言及し、党の軍隊指導の強化を図ると発言しており、会議の目的が習近平軍事指導体制の強化を図ることにあつたことは明明白白だ。特に習近平の汚職追放キャンペーンで失脚した「大虎」のなかに武装警察の指導者であつた周永康(前政治局常務委員)や徐才厚上将(前政治局委員・軍事委副主席)が含まれており、習近平は毛沢東の威光を借りて軍部の綱紀肅正を徹底したい考えのようだ。

習近平の動向については、もうひとつ面白いニュースがある。彼は新古田会議に先立つ10月15日に「文芸座談会」と称するシンポジウムを北京の人民大会堂で開催し、72名の小説家、俳優、歌手、画家等の有名文化人を招待し、そこで行つた「文芸講話」のなかで、「文芸は市場経済の大きな潮流のなかで方向性を見失ってはならない」、「文芸は社会主義のために奉仕せねばならない」云々と大訓示を垂れた。

蔓延する拝金主義に警鐘を鳴らし、「文化人各位におかれては、『中華民族の偉大な復興』を文化芸術面でサポートして欲しい」という発想だろうと好意的に解釈し、「全文を何度も読み返し、興奮して夜も眠れなかつた。文芸界の春が来た。これからは良い作品を作り、人民に恩返しをしたい」と絶賛する有名コメディアン趙本山のような出席者もなかにはいたようだが、権力による文化芸術分野への介入を強く示唆する習近平発言を聞き、「毛沢東が発動した文化大革命再来の兆しを感じさせた」と感想をもらす知識人もいた。習近平主席の講話全文はその後、全国の文芸関係者に配られ、いま全国各地で「学習会」が行われている。

この「文芸講話」が毛沢東を意識したものであることはいわずもがなだ。中国の現代史を学んだ人にとって、「文芸講話」と云えば毛沢東が1942年に革命聖地の延安で行つた「文芸講話」を指す。毛沢東が指導する中国共産党が黄土高原の果ての延安に革命根拠地を築いて以降、革命運動に憧れ延安を訪ねる青年が一気に増えたが、毛沢東はひ弱なインテリ青年たちの文学論が、動もすると芸術至上主義に流されがちな現状を危惧し、革命文学の方向性を指示したものである・・・云々と中国共産党の文書には書かれているが、現実には毛沢東が政敵をパージするために発動した「延安整風」肅清運動で、勝利するための強力な武器が「延安の文芸講話」であつた。今回の文芸座談会の参加者を72人に絞つたのは、毛沢東の講話発表から72周年を記念する意味があるという。ちょっと不気味な習近平の毛沢東傾倒ではある。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年11月7日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 121 号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040